

令和6年度

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価報告書

小千谷市教育委員会

【目 次】

I 教育委員会の会議の開催及び審議状況

1	教育委員会 第4回定例会	(令和6年4月17日開催)	……	1
2	教育委員会 第5回定例会	(令和6年5月15日開催)	……	2
3	教育委員会 第6回定例会	(令和6年6月26日開催)	……	2
4	教育委員会 第7回定例会	(令和6年7月25日開催)	……	2
5	教育委員会 第8回定例会	(令和6年8月19日開催)	……	3
6	教育委員会 第9回定例会	(令和6年9月26日開催)	……	3
7	教育委員会 第10回定例会	(令和6年10月22日開催)	……	3
8	教育委員会 第11回定例会	(令和6年11月22日開催)	……	4
9	教育委員会 第12回定例会	(令和6年12月26日開催)	……	4
10	教育委員会 第1回定例会	(令和7年1月20日開催)	……	5
11	教育委員会 第2回定例会	(令和7年2月19日開催)	……	5
12	教育委員会 第3回定例会	(令和7年3月26日開催)	……	6

II 教育委員会における事務の点検及び評価

1 学校教育の充実

(1) 幼児教育の充実

ア	認定こども園への支援	……	7
イ	相談体制の充実	……	7

(2) 小・中学校教育の充実

ア	学校の創意を活かす教育の推進	……	8
イ	情報活用能力の育成	……	9
ウ	教職員の指導力向上	……	9
エ	ふるさと教育・キャリア教育の推進	……	10
オ	震災体験を活かした防災教育の推進	……	10
カ	いじめ・不登校対策と人権感覚を育む教育の推進	……	10
キ	英語教育・国際理解教育の充実	……	11
ク	非核平和教育の推進	……	12
ケ	食育の推進	……	12
コ	学校給食の運営	……	13

(3) 特別支援教育の充実

ア	就学相談体制の充実	……	14
---	-----------	----	----

イ	特別支援教育の充実	14
ウ	総合支援学校の運営	15
エ	生徒への就労支援	15
(4)	教育環境の整備	
ア	学校施設の整備	16
イ	学校給食施設の整備	16
ウ	I C T環境の整備	17
エ	学校の在り方検討	17
オ	学びの多様化学校整備	18
(5)	育英事業の推進	
ア	育英事業に対する支援	18
2	子育て環境の充実	
(1)	子育て支援の充実	
ア	子育てを支援する地域社会づくりの推進	19
イ	保育サービスの充実	19
ウ	保育施設の適正配置の推進	20
エ	放課後児童クラブ（学童保育）への支援	20
Ⅲ	点検及び評価に対する意見等	21

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、小千谷市教育委員会の令和6年度における事務の管理及び執行の状況について、教育施策が着実に執行されているかなど、学識経験者からご意見をいただきながら、点検及び評価を行い、その結果を報告するものです。

教育を取り巻く環境は年々厳しさを増していますが、市教育委員会の事務・事業につきまして一層のご理解を深めていただくとともに、「人を育み文化の香るまちづくり」のために、ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

小千谷市教育委員会

【学識経験者】

- ・ 井上 幸一郎（新潟県立小千谷高等学校校長）
- ・ 菅原 誠 廣（前教育センター所長）
- ・ 大 瀧 良 子（認定こども園つくし幼稚園園長）

I 教育委員会の会議の開催及び審議状況

令和6年度に教育委員会定例会を12回開催し、25件の議案を審議しました。また、議事録承認12件、陳情1件、協議報告事項は72件でした。審議の結果は、以下のとおりです。

1 教育委員会第4回定例会

- ・ 日 時 令和6年4月17日（水） 午後4時00分～午後4時09分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和6年第3回定例会
- ・ 議 事 （2件）

議案第11号	教育委員会委員の議席の決定について	原案承認
議案第12号 (非公開)	臨時代理について（附属機関の委員の人事について）	原案承認

- ・ 協議報告事項（6件 非公開）
 - ・ 市制施行70周年・中越大震災から20年関連事業等について
 - ・ 全県教育長会議の報告について
 - ・ 小千谷学生寮歓迎会の状況について
 - ・ 小千谷市中学校教科用図書採択について
 - ・ 始業式当日の児童生徒の欠席状況について
 - ・ 令和6年度教育委員・管理指導主事学校訪問日程調整について

2 教育委員会第5回定例会

- ・ 日 時 令和6年5月15日(水) 午後4時00分～午後4時13分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和6年第4回定例会
- ・ 議 事 (1件)

議案第13号 (非公開)	臨時代理について(附属機関の委員の人事について)	原案承認
-----------------	--------------------------	------

- ・ 協議報告事項(3件 非公開)
 - ・ 中学校リーダー研修会について
 - ・ 関東地区都市教育長協議会総会について
 - ・ 学校訪問における懇談会の進め方について

3 教育委員会第6回定例会

- ・ 日 時 令和6年6月26日(水) 午後4時00分～午後4時13分
- ・ 場 所 市役所本庁402会議室
- ・ 議事録承認 令和6年第5回定例会
- ・ 議 事 (1件)

議案第14号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(令和6年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)補正予算(第2号)について))	原案承認
--------	---	------

- ・ 協議報告事項(6件 非公開)
 - ・ 新潟県市町村教育委員会連合会定期総会の日程について
 - ・ 市議会第2回定例会一般質問について
 - ・ 新潟県少年の主張—私の主張—小千谷市内選考会について
 - ・ 不登校児童・生徒親の会開催について
 - ・ 学びの多様化学校フォーラムの報告
 - ・ 学校訪問の様子について

4 教育委員会第7回定例会

- ・ 日 時 令和6年7月25日(木) 午後3時58分～午後4時45分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和6年第6回定例会
- ・ 議 事 (2件)

議案第15号	特別支援学校及び特別支援学級用の教科用図書の採択について	原案承認
議案第16号	中学校教科用図書の採択について	原案承認

- ・ 協議報告事項(5件 非公開)
 - ・ 1学期のいじめ・不登校等について
 - ・ 令和6年度中学校中越地区大会・県大会の結果について

- ・教育委員会視察旅行について
- ・学校訪問の様子について
- ・南アルプス子どもの村小中学校視察研修について

5 教育委員会第8回定例会

- ・日 時 令和6年8月19日(月) 午後4時15分～午後4時23分
- ・場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・議事録承認 令和6年第7回定例会
- ・議 事 (1件)

議案第17号	小千谷市特定教育・保育等に要する費用の額の算定に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について	原案承認
--------	--	------

- ・協議報告事項(7件 非公開)
 - ・公立保育園の土曜保育運営について
 - ・令和6年度北信越中学校総合競技大会の結果について
 - ・不登校児童生徒の「指導要録上の出席扱い」に関するガイドラインについて
 - ・令和6年度1学期いじめ認知報告及び不登校児童生徒状況
 - ・令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について
 - ・私の主張長岡地区大会の結果について
 - ・広島平和式典記念式典への参加について

6 教育委員会第9回定例会

- ・日 時 令和6年9月26日(金) 午後3時56分～午後4時04分
- ・場 所 市役所本庁大会議室
- ・承議事録認 令和6年第8回定例会
- ・議 事 (0件)
- ・陳 情 (1件)

陳情第1号	小千谷市教育の振興に関する要望書について	原案可決
-------	----------------------	------

- ・協議報告事項(5件 非公開)
 - ・2学期始業式における児童生徒の出席状況について
 - ・市議会第3回定例会一般質問について
 - ・「中越大震災の日」に係る取組について
 - ・科学作品展覧会について
 - ・学びの多様化学校設置検討について

7 教育委員会第10回定例会

- ・日 時 令和6年10月22日(火) 午後3時56分～午後4時10分
- ・場 所 健康・こどもプラザ会議室

- ・ 議事録承認 令和6年第9回定例会

- ・ 議 事 (1件)

議案第18号	教育委員会委員の議席の決定について	原案承認
--------	-------------------	------

- ・ 協議報告事項 (3件 非公開)
 - ・ 「2025～2027年度 おぢやっ子教育プラン」(改訂案)について
 - ・ 中越地区中学校駅伝競走大会の結果について
 - ・ 吉谷小学校150周年記念式典について

8 教育委員会第11回定例会

- ・ 日 時 令和6年11月22日(金) 午後2時25分～午後2時38分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和6年第10回定例会
- ・ 議 事 (0件)
- ・ 協議報告事項 (9件 非公開)
 - ・ 小千谷市幼保小連携推進事業について
 - ・ おぢやしごと未来塾について
 - ・ いじめ対策専門委員会について
 - ・ イングリッシュセミナーについて
 - ・ 県中学校駅伝大会の結果と全国駅伝大会について
 - ・ 小千谷市中学校工場の状況について
 - ・ 給食の民間委託について
 - ・ 不登校児童生徒の支援や対策に関するアンケート調査について
 - ・ 学校の在り方検討委員会について

9 教育委員会第12回定例会

- ・ 日 時 令和6年12月26日(木) 午後3時52分～午後4時09分
- ・ 場 所 市役所本庁大会議室
- ・ 議事録承認 令和6年第11回定例会
- ・ 議 事 (2件)

議案第19号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(令和6年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)補正予算(第7号)について))	原案承認
議案第20号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(令和6年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)補正予算(第8号)について))	原案承認

- ・ 協議報告事項 (9件 非公開)
 - ・ 全国中学校駅伝大会について

- ・イングリッシュセミナーについて
- ・「おぢやっ子教育プラン」(改定案2)について
- ・新潟県教職員組合の要望と回答について
- ・第4回市議会定例会一般質問について
- ・おぢやしごと未来塾の報告について
- ・中学校生徒会活動交流会について
- ・不登校児童生徒の支援や対策に関するアンケート調査結果について
- ・学びの多様化学校について

1 0 教育委員会第1回定例会

- ・ 日 時 令和7年1月20日(月) 午後3時50分～午後4時00分
- ・ 場 所 市役所本庁大会議室
- ・ 議事録承認 令和6年第12回定例会
- ・ 議 事 (2件)

議案第1号	特別支援学校及び特別支援学級用の教科用図書の追加採択について	原案承認
議案第2号	小千谷市立小中学校の在り方検討委員会設置要綱の制定について	原案承認

- ・ 協議報告事項(6件 非公開)
 - ・ 令和7年度保育園の入園申込状況について
 - ・ 3学期始業式における児童生徒の出席状況について
 - ・ 2学期のいじめ不登校等の状況報告について
 - ・ 令和6年度全国体力・運動能力、運動週間等調査 結果について(速報)
 - ・ 「おぢやっ子教育プラン」(改定訂案3)について
 - ・ 卒業式の日程と出席について

1 1 教育委員会第2回定例会

- ・ 日 時 令和7年2月19日(水) 午後3時56分～午後4時20分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和7年第1回定例会
- ・ 議 事 (8件)

議案第3号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(小千谷市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について))	原案承認
議案第4号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(小千谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について))	原案承認

議案第5号	臨時代理について（議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について（小千谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について））	原案承認
議案第6号	臨時代理について（議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について（令和6年度小千谷市一般会計（教育委員会所管）補正予算（第11号）について））	原案承認
議案第7号	臨時代理について（議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について（令和7年度小千谷市一般会計（教育委員会所管）当初予算について））	原案承認
議案第8号	おぢやっ子教育プランの改訂について	原案承認
議案第9号 （非公開）	令和7年度管理職教職員人事異動の内申について	原案承認
議案第10号 （非公開）	附属機関の委員の人事について	原案承認

- ・ 協議報告事項（5件 非公開）
 - ・ 令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣調査の結果について
 - ・ 全国中学校スキー大会の結果について
 - ・ エデュケーショントークについて
 - ・ 部活動地域移行の現状について
 - ・ 市立学校卒業式対応について

1.2 教育委員会第3回定例会

- ・ 日 時 令和7年3月26日(水) 午後2時30分～午後2時48分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和7年第2回定例会
- ・ 議 事 (5件)

議案第11号	小千谷市立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則について	原案承認
議案第12号	小千谷市が設置する特定教育・保育施設に係る費用の額を定める要綱の一部を改正する要綱について	原案承認
議案第13号	小千谷市フリースクール等利用料補助金交付要綱の一部を改正する要綱について	原案承認
議案第14号	小千谷市放課後児童健全育成事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱について	原案承認
議案第15号 （非公開）	臨時代理について（教育委員会事務局、教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事を行うことについて）	原案承認

- ・ 協議報告事項（8件 非公開）
 - ・ 令和7年度小千谷市教職員の人事異動について

- ・教育委員会関連の小千谷市褒賞者について
- ・市議会第1回定例会一般質問について
- ・小千谷学生寮等の状況について
- ・スポーツ振興の集いについて
- ・卒業式の感想について
- ・令和6年度教育委員会総括
- ・異動者挨拶

II 教育委員会における事務の点検及び評価

第五次小千谷市総合計画に定める施策のうち、教育委員会が所管する施策について点検・評価を行いました。

具体的には、後期基本計画に分野別に体系づけられた「施策の基本方針」について、令和6年度の取り組み状況を点検・評価したものであり、その結果は以下のとおりです。

なお、取組状況を補足するうえで、小千谷市が調製した「令和6年度 主要な施策の成果説明資料（兼事務報告）」（以下「資料」という。）を参照することが適当なものは、資料の該当ページを表示しました。

1 学校教育の充実

(1) 幼児教育の充実

ア 認定こども園への支援

【令和6年度の取組み】

- 教育・保育を一体的に行う幼保連携型認定こども園（私立3園）に対し、特色ある教育の推進と充実を図るため、運営等に関する補助及び助言による運営支援を行った。

※資料P85～87 「○子ども・子育て支援事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 国、県及び市による認定こども園に対する支援を継続した。待機児童が発生しないよう、官民一体による保育ニーズへの対応と質の高い保育の提供に努める。

イ 相談体制の充実

【令和6年度の取組み】

- 特別支援教育指導主事がより専門的な指導助言を行うことで、各園との連携が強化された。各園の育児講座などで、保護者に就学相談の進め方を周知する機会が増えた。

- 教育支援委員会、保育園等関係機関と連携し、就学に関する情報交換及び就学相談に対応した。
- 就学相談をより円滑に推進するため、各園における特別支援教育の相談窓口となる発達支援コーディネーターを各園に配置し、研修会の実施や小学校との情報交換を行った。
- 各園を対象とした巡回訪問を行い、就学相談等への助言や就学前から園児についての情報収集を行った。

※資料P154～158 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- より専門的な指導助言を行うことができたため、各園と学校との連携及び調整を円滑に図ることができた。
- 巡回訪問や各園への発達支援コーディネーターの配置により、早期からの就学相談が定着してきている。
- 幼保小の就学相談に関わる連携体制のより一層の充実を図る。
- 特別支援教育に係る研修の充実を図る。

(2) 小・中学校教育の充実

ア 学校の創意を活かす教育の推進

【令和6年度の取組み】

- 「おちやっ子教育プラン」（令和7～9年度版）を新たに策定した。事前に改訂内容を学校訪問の際に各学校に周知し、教育プランの理解を図った。
- 「おちやっ子教育プラン」に基づき、校長のリーダーシップのもと、各校が「おりなす教育推進事業実施計画」を作成し、家庭・地域と共に学校・地域の特色を生かした実践を行った。
- 各校の「おりなす教育推進事業 実践編」を冊子にまとめ配付している。各校は他校の取組を参考にすることができている。

※資料P154～158 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 学校訪問等を通して、直接「おちやっ子教育プラン」の教職員への周知を図ることができた。
- 「おちやっ子教育プラン」のよこ糸である家庭や地域の役割を各学校がグラウンドデザインに取り入れている。メディアコントロール・家庭学習が課題となっていることから、学校と保護者が連携しながらメディア使用時間や家庭学習の取組を進めていく。

- 小・中特別支援学校新学習指導要領、及び新潟県の学校教育の重点を受け、「生きる力」を育む「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、「単元構想の工夫」「対話のある学び」「ICT活用」を重点的に取り組んでいく。

イ 情報活用能力の育成

【令和6年度の取組み】

- 一人一台パソコンを活用し、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業実践が進んだ。また、健康観察機能で児童生徒の日々の様子を把握できるようになった。

【成果及び今後の取組み等】

- G I G Aパソコンの利用促進と共に、取り扱うデータ量が増加するため、学校の通信環境の改善を図る。
- デジタル教科書の使用とともに、教員の情報活用能力を高めていく必要がある。
- 小千谷の子は長時間SNSを利用する傾向にあることが全国学力・学習状況調査により明確になった。改訂「おぢやっ子教育プラン」（令和7～9年度）では具体的なルールを定め、家庭でのメディアコントロールの取り組みを進める。

ウ 教職員の指導力向上

【令和6年度の取組み】

- 教育委員会や教育センター主催の研修会を実施した。
- 市教育研究会と連携した指導力向上研修と若手教員対象の小千谷塾及び全小・中学校、総合支援学校への市教委訪問における指導助言で、教職員の指導力向上を図った。
- 全国学力・学習状況調査や児童生徒質問紙の実施結果を各校で分析し、学力向上や生活習慣等の向上に取り組むように指導した。

【成果及び今後の取組み等】

- 全国学力・学習状況調査や児童生徒質問紙の結果分析を夏休み中に実施し、2学期以降の指導に生かすことができた。学習の楽しさを実感させたり学習意欲を高めたりする手立てを行い、ICTの活用を重点的に取り組む。
- 新採用教員が増えている。小千谷塾での個別指導を通して、教員としての基本的な資質・能力の向上を図る。
- 全国学力・学習状況調査の結果、各教科とも全国平均と比べて低い結果となっている。令和7年度は、中越教育事務所に要請して国語の重点指導を受け、授業力向上に向けて取り組む。

エ ふるさと教育・キャリア教育の推進

【令和6年度の取組み】

- 「おりなす教育推進事業」を実施し、子どもたちが、小千谷の自然・歴史・人と繰り返しかかわる（おりなす）教育を推進し、ふるさとに誇りをもち、夢に向かって進む礎づくりを行った。
- 市内の企業及び事業所からの協力を得て、中学校1・2年生対象の「おちやしごと未来塾」を実施することができた。「職場体験活動」についても、2年生を対象に3日間実施した。

※資料P154～158 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 各校が地域の特色を捉えた特色ある、ふるさと教育・キャリア教育を推進できた。
- キャリアパスポートの活用を進める。校種が変わっても継続して利用し、個々に求められる資質・能力を育んでいく。

オ 震災体験を活かした防災教育の推進

【令和6年度の取組み】

- 「防災教育の推進」を「おちやっ子教育プラン」に位置付け、年間を通して計画的に防災教育を推進した。
- 中越大震災を風化させない取組を各校で推進した。
- 中学校3年生対象の「おちや防災塾」を実施し、災害時に命を守る行動を学んだ。

※資料P154～158 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 「おちや震災ミュージアム そなえ館」の活用が進み、震災への心構えが定着してきている。中越大震災を風化させない取組を各校で継続していく。
- 地域を巻き込んだ防災訓練や体制整備を進める。
- 洪水や土砂災害など自然災害が頻繁に起こる状況になっている。災害時における学校の対応マニュアルの総点検を行うとともに、地域の安全を意識し、地域の安全を守る子どもたちを育んでいく。

カ いじめ・不登校対策と人権感覚を育む教育の推進

【令和6年度の取組み】

- 毎月、児童生徒のいじめ報告や出欠状況報告を学校に求めている。学校からの報告を基に、青少年育成センター所長、教育センター「マイルーム」

指導員、市教育相談員、教育・保育課管理指導主事で情報交換会を行い、実態把握や対応の検討を行っている。

- 「いじめ・不登校等対策協議会」を開催し、いじめの事例を中越教育事務所指導主事から提供いただいた。協議会を含め、初期対応の重要性について理解と認識を深める機会となった。
- 「いじめ対策専門委員会」を開催し、令和6年度に実際に起きたいじめの事例を基に、様々な立場から、いじめ対応についての専門的なご意見をいただいた。
- 生徒指導主事・生活主任対象のいじめ・不登校対応研修を年2回実施し、対応力の向上を図った。
- 不登校児童生徒の保護者に寄り添うため、不登校児童生徒の親の会（スマイルの会）を3回開催し、保護者同士の情報共有の場を提供した。
- 改訂された「新潟県人権教育基本方針実践のための教職員研修の手引き」を基に、一層の人権教育・同和教育を推進していく。
- 「いのち・愛・人権」新潟市展において、人権・同和問題による差別の歴史や現状をパネル展示し、差別解消に向けた学びの場を提供した。

※資料P42 「■人権擁護関係事務」参照

※資料P154～158 「○教育指導経費」参照

※資料P158～159 「○適応指導教室経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 学校の早期発見・早期対応により、いじめの重大事態はなかった。
- 生徒指導担当者研修を受講し、各校でいじめに関する教職員研修が行われ、教職員のいじめに対する知識や対応能力の育成が図られた。
- 小・中学校とも不登校児童生徒が増加している。一人一人の子どもの状況に応じた対応が重要であり、これまで以上に組織的な対応を行っていく。
- 児童生徒、保護者の不安や悩みに寄り添った支援の充実が大切である。教育委員会主催の「不登校児童生徒の親の会（スマイルの会）」は毎回参加者が増えている。保護者支援を通じて、連携の輪を広げていく。
- 不登校については、学級担任が抱えることなく、校内での協力体制や外部の専門機関との連携を図っていく必要がある。多様化学校(小千谷中学校分校)及び校内教育支援センター(小千谷小学校)の設置に向けた環境整備を進め、教育委員会がハブの役割を果たしていく。
- 同和教育に関わる教職員の研修支援を継続していく。

キ 英語教育・国際理解教育の充実

【令和6年度の取組み】

- ALT 4名、外国語指導助手（臨時）1名、英語教育推進員（臨時）1名

を配置し、外国語教育、国際理解教育を推進した。

- ウィンターイングリッシュキャンプは、小学生、中学生と一緒に参加し、半日で実施した。

※資料P154～158 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- ウィンターイングリッシュキャンプの実施により、児童生徒の国際理解の推進、英語力向上を図ることができた。令和7年度も推進していく。
- ALT4名体制、小学校5・6年外国語は英語専科教員とALTとのTT授業（ティームティーチング授業）、3・4年生は外国語指導助手、英語教育推進員、学級担任とのTT授業体制を今後も維持していく。

ク 非核平和教育の推進

【令和6年度の取組み】

- 被爆体験伝承講話会において、市内中学生が被爆体験者から直接講話を聞く機会を持てた。
- 非核平和ポスター展に市内中学生等が「世界が平和であることの大切さ」や「核兵器の恐ろしさや核兵器を無くすこと」を題材にしたポスターを作成し展示した。

【成果及び今後の取組み等】

- 被爆体験伝承講話会や広島平和記念式典への生徒の派遣事業などを通して、核のない平和な社会を築くことの大切さについて、実感をもって学ぶことができた。
- 社会科や国際理解教育、道徳教育等、様々な学習場面で、児童生徒に生命や平和の大切さを伝えていく。

ケ 食育の推進

【令和6年度の取組み】

- 給食週間の実施や給食だよりの発行など、学校給食を通して、児童生徒及び保護者に対し、食に関する正しい知識と望ましい食習慣について周知を図った。
- 毎月の食育の日（19日）に市内統一の「おぢやっ子わくわくメニュー」を提供することで食育の推進を図った。
- 市内全校での小千谷産コシヒカリを使用した米飯給食の実施や、地元農家等と協働して地場産野菜を使用することで、地産地消の観点から食育についての啓発を図るとともに、食を通じて地域の理解を深めた。

- 地場産物の利用促進を図るため、地元納入業者及び農家と懇談会の場を設けた。
- 良質な小千谷産コシヒカリによる学校給食を継続するため、魚沼農業協同組合（旧越後おぢや農業協同組合）と覚書を締結し安定的な米飯給食の推進を図った。
- 「10.23中越大震災の日給食」として、震災時を想定し、備蓄できる食品を活用しながら、簡単な調理作業により提供できる献立による給食を市内統一で実施した。

※資料P179～180 「○学校給食経費 ○学校給食センター経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 給食週間のテーマを「祝 市制 70 周年 知ろう！食べよう！うんめえ～おぢやの宝」とし、市制誕生 70 年目の節目に、小千谷市が誇る文化・産業等に関連した給食メニューを提供した。子どもたちに給食週間の意義伝えるとともに、泳ぐ宝石「錦鯉」、日本一美味しい「魚沼産コシヒカリ」、世界最大級の「四尺玉花火」、文化遺産・文化財である「小千谷縮」、高い技術力を誇る「鉄工業」をテーマとし、おぢやの宝を紹介しながら食育の啓発を図ることができた。
- 「おぢやっ子わくわくメニュー」では、新潟県の県魚である泳ぐ宝石“錦鯉”をイメージした「錦鯉給食」の実施や新潟県教育月間である 11 月を米飯給食、地場産給食推進月間とされたことから地元米及び地場産物を使用した「キラッと新潟米☆地場もん献立」を提供した。
- 地場産物の活用により、食育の生きた教材となる学校給食としての役割を果たしている。また、生産者や納入業者が減少している課題について、地元納入業者等と連携しながら、小千谷産の地場物の利用維持に努めていく。
- 学校給食を通じた防災体験活動として「10.23中越大震災の日給食」を継続し、併せて児童生徒の防災意識の向上を図る。
- 栄養教諭や学校栄養職員を中心に、児童生徒及び保護者に対して学校給食、授業、試食会等を通して食育を継続し、食育の啓発を図る。

コ 学校給食の運営

【令和 6 年度の取組み】

- 調理員等の資質向上のため、研修会を実施した。
- 小千谷市食育推進計画の重点目標である望ましい食習慣を理解し、実践を促すため、新規取組として、食育月間である 6 月に保育園・学校共通メニューを提供した。

【成果及び今後の取組み等】

- 望ましい食習慣を理解し、実践を促すため、食育月間である6月に保育園・学校共通メニューの提供、おぢや食育たよりの発行により子どもたちやその親世代に対し周知を図った。また、6月の広報おぢやでも特集記事を掲載し、広く周知を図った。
- 安心・安全な給食を提供するため、調理員等を対象とした研修会を継続して行う。
- 学校給食センターの調理・運搬業務の厳正かつ適正な指導・評価を行い、引き続き安全・安心な給食の提供に努める。

(3) 特別支援教育の充実

ア 就学相談体制の充実

【令和6年度の取組み】

- 各園の発達支援コーディネーターを対象とした研修会を実施し、園での就学相談体制を整えるとともに、小学校への情報提供を行い、適正な就学に努めた。
- 特別支援教育指導主事を中心に各園への巡回訪問を行い、園児の様子について情報収集に努め、その後の就学相談につなげた。

【成果及び今後の取組み等】

- 就学相談について、保護者と学校との調整を図ることで就学前児童の円滑な就学を進めることができた。
- 総合支援学校の地域連携担当と特別支援教育指導主事が役割分担を明確にしたことで、保育園・認定こども園と小学校との円滑な連携が進められた。
- 特別支援教育指導主事を中核として、各園職員の特別支援教育への理解、各小中学校の専門相談員の適切な就学の相談や判断のあり方等の研修を今後も進めていく。

イ 特別支援教育の充実

【令和6年度の取組み】

- 小・中・総合支援学校に特別支援アシスタント30名、小学校に学校支援員16名を配置し、個のニーズに応じたよりきめ細やかな支援に取り組んだ。
- 地域における特別支援教育の充実を図るため、総合支援学校に設置された地域支援・特別支援教育推進部の活用を進めた。年間5回の教員向け研修会を実施した。
- 総合支援学校のセンター的機能を活かした相談支援ネットワークの構築を図った。

- ※資料 P161～162 「○小学校教育振興経費」参照
- ※資料 P163～164 「○中学校教育振興経費」参照
- ※資料 P165～166 「○特別支援学校教育振興経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 総合支援学校の地域支援・特別支援教育推進部が各園や学校と積極的に連携し、児童生徒の個別の相談や支援を進めた。
- 通常学級に在籍しているが、個別の配慮を必要とする児童生徒が増えていることから、令和6年度は特別支援アシスタント5名、学校支援員1名増員した。発達障がい疑われる児童生徒に対する適切な支援、通常学級に在籍する特別な配慮を要する児童に対する対応や支援等を学ぶ研修をさらに充実させていく。

ウ 総合支援学校の運営

【令和6年度の取組み】

- 地域コーディネーターを配置し、各校と総合支援学校との連携を図った。
- 総合支援学校主催の研修講座を年5回実施し、市の特別支援教育の充実を図った。

【成果及び今後の取組み等】

- 総合支援学校とその他の学校、保育園・認定こども園との連携が年々充実してきている。特に、保育園と総合支援学校のホットラインが有効に機能しており、保育園の困り感に迅速に相談・対応できている。
- 教員のニーズに応じた研修講座を実施し、市内教職員の積極的な参加を促していく。

エ 生徒への就労支援

【令和6年度の取組み】

- ハローワーク主催の企業説明会への参加や市内企業、障がい者就労施設での現場実習に取り組んだ。

【成果及び今後の取組み等】

- 生徒の希望に沿った職場実習を継続的に行うことで、生徒の適性に合った就労につなげることができた。令和6年度の職場実習事業所数は21事業所で昨年度より4箇所増えた。今後も受入れ企業を増やしていく。
- 高等部の卒業生の増加に伴い、更に生徒の希望に沿った受け入れ先を開拓していく必要がある。

(4) 教育環境の整備

ア 学校施設の整備

【令和6年度の取組み】

○小学校の校舎整備工事を実施した。

〈主な工事〉

- ・吉谷小学校保健室換気扇等取付工事
- ・小千谷小学校集会室照明LED化工事
- ・東山小学校高圧気中開閉器取替修繕工事

○中学校の校舎整備工事を実施した。

〈主な工事〉

- ・片貝中学校高圧気中開閉器取替工事
- ・南中学校視聴覚教室間仕切り設置工事
- ・小千谷中学校特別教室棟長寿命化改良工事

○総合支援学校の校舎整備工事を実施した。

〈主な工事〉

- ・総合支援学校グラウンド仮設工事

※資料P162 「○小学校施設整備事業」参照

※資料P165 「○中学校施設整備事業」参照

※資料P165 「○特別支援学校管理経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

○各種修繕、改修工事により校内環境の改善、向上が図られた。

○学校施設の老朽化や教育環境の変化に対応した施設整備を計画的に実施する。

〈今後の主な工事〉

- ・学びの多様化学校整備工事

イ 学校給食施設の整備

【令和6年度の取組み】

○給食センタープレハブ冷蔵庫更新工事

○給食センタープレハブ冷凍庫更新工事

○小千谷市学校給食センター屋上等改修工事

【成果及び今後の取組み等】

○今後も計画的に老朽化した施設設備の改善を図り、安心・安全な学校給食を推進していく。

〈今後の主な工事〉

- ・小千谷小学校給食用給湯ボイラー修繕工事

- ・給食センター給水ポンプユニット更新工事
- ・給食センター高圧気中開閉器更新工事

ウ ICT環境の整備

【令和6年度の取組み】

- 学習端末の活用を図るため、教職員対象の活用研修を継続して実施した。
- ICT教育を推進するため、情報通信技術支援員の配置及び情報教育業務委託を継続して行った。
- ICT教育推進協議会にて次期学習端末にiPadを選定し、より持ち運びやすく使いやすいものとする事とした。

※資料P159～160 「○教育センター経費」参照

※資料P161～162 「○小学校教育振興経費」参照

※資料P163～164 「○中学校教育振興経費」参照

※資料P165～166 「○特別支援学校教育振興経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- ICT活用授業実践研修や学習端末活用研修の実施により、教職員のコンピュータ活用能力と情報活用能力が向上した。
- 情報通信技術支援員及び端末管理の外部委託により、安定して学習用端末を利用できるよう学校を支援した。引き続き、教職員の負担が過度にならないよう学校の取組を後押しする。
- 総合学習支援ソフトの継続利用により学習端末を使用した授業が活発化された。更に活用を図るため、教職員のフォローアップを進めていく。
- 国庫補助事業を活用し、学習端末を更新するとともに、大型提示装置を全普通教室へ整備し、教育環境の改善を進める。

エ 市立小中学校の在り方検討

【令和6年度の取組み】

- 児童生徒が集団で協力・切磋琢磨しながら学び、成長していくという学校の特性を鑑み、将来を展望した学校や教育環境の在り方等を検討することとし、事業を開始した。2月に教育長が「市立小中学校の在り方検討委員会」へ諮問し、同委員会での答申に向けた会議を2回開催した。

※資料P154 「○学校教育総務経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 令和7年9月末を目途に「市立小中学校の在り方検討委員会」からの答申をもとに、教育委員会が主体となり、地域懇談会をとおして意見徴収と合

意形成を行う。これらを反映させ、市立小中学校の在り方に関する計画を令和8年度末を目途に策定する。

オ 学びの多様化学校整備

【令和6年度の取組み】

- 不登校生徒に対して、安心して学べる環境を提供するため、学びの多様化学校（いわゆる不登校特例校）を市民学習センター内に設置することとし、基本構想の策定、文部科学省への指定申請を行った。

【成果及び今後の取組み等】

- 令和8年4月開校を目指し、施設の整備、学校の運営検討を行い、準備を進める。
- 小千谷中学校の分校として学びの多様化学校を設置するため、学校との連携、調整を十分に行い、在籍する生徒が安心して自分のペースで学び、成長できる環境を整備し、全ての子どもたちが持つ可能性を引き出す。

(5) 育英事業の推進

ア 育英事業に対する支援

【令和6年度の取組み】

- (公財)小千谷奨学会において、経済的な理由により就学困難な者に対し奨学金の貸与を行った。
 - ・貸与者数 新規 20人 継続 33人 計 53人
 - ・令和6年度貸付総額 15,720千円
- (公財)小千谷奨学会において、小千谷学生寮を運営し、共同生活を通じた健全な学生生活の向上と、経済的負担の軽減を図った。
 - ・学生寮入寮者数(令和6年4月1日現在)
新規 5人 継続 15人 計 20人

※資料P154 「○学校教育総務経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 令和7年度奨学生募集より、例年より早めに近隣高校へチラシ・ポスターの配布を依頼し周知を行うことで、31名の申込みがあった。
- 令和8年度奨学生募集では、近年の物価高騰を受け、学生が安心して学業に専念できる環境を整えるため、奨学金貸与額の引き上げを行う。
- 育英事業の充実を図るため、(公財)小千谷奨学会の学生寮運営経費等に対して助成を継続する。
- ホームページやポスター・パンフレットなどの有効な手段を用いて、小千谷学生寮の入寮生募集に努めていく。

2 子育て環境の充実

(1) 子育て支援の充実

ア 子育てを支援する地域社会づくりの推進

【令和6年度の取組み】

- 「小千谷市子ども・子育て支援事業計画」に基づき各種事業を継続実施し、次期計画に係る分析や関係機関との意見交換等、策定に向け作業を実施した。
- 保育園を核とした地域住民参加・交流による子育て支援活動を実施した。
- 町内会等の管理する児童遊園遊具等の新設・増設・修繕に対して助成を行った。
- 放課後子ども教室を開催し、放課後の子どもの居場所づくりや知識・経験の伝承の場を提供した。

※資料P89 「○児童遊園管理経費」参照

※資料P168 「○地域子どもはぐくみ事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- こども政策を総合的に推進するため、令和7年度から令和11年度までの「小千谷市こども計画」を策定した。今後は、こどもまんなか社会の実現に向け各事業に取り組んで行く。
- 各園で実施している子育て相談及び未入園児お招き会などを通じ、保育園における各地域の子育て支援サテライト機能を充実していく。
- 児童遊園遊具等の助成により、児童が安心安全に遊べる環境整備を図る。
- 放課後子ども教室の開催により、児童の意欲が向上し学習や生活の変化につながっている。事業継続にはボランティアの確保が課題となっている。

イ 保育サービスの充実

【令和6年度の取組み】

- 保護者の子育てと就労との両立及び多様化する就労形態に対応するため早朝・延長保育、一時保育を実施した。また、令和5年度より早朝・延長保育料を一部無償化し、就労支援を継続した。
- 遠距離から通園する児童の保護者に対し、負担軽減を図るため通園費の補助を行った。
- 共働き世帯の増加により保育ニーズが高まっている未満児（0～2歳児）の受入れ体制整備に努め、特に成長に差がある1歳児は、国配置基準よりも手厚い保育士配置を行い、安心・安全な保育環境の提供を行った。
- 障がいのある子どもの受入れにあたり、保育士の加配を行い、健常児と共に集団保育を基本に成長発達を促せる環境での保育を提供した。

※資料 P85 「○保育園経費」参照

※資料 P85～86 「○子ども・子育て支援事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 早朝保育や土曜日を含む延長保育、一時保育を実施し、子育てと仕事の両立を支援した。早朝・延長保育料の一部無償化も継続し負担軽減策を図る。
- 通園費補助を行うことで遠距離通園に係る保護者負担軽減が図れた。
- 未満児、障がい児保育の需要に対応する受入れを行うことができた。引き続きニーズに対応した保育士の確保に努める。

ウ 保育施設の適正配置の推進

【令和6年度の取組み】

- 保育施設の利用ニーズに対し、受入体制の確保を行った。

【成果及び今後の取組み等】

- 令和7年度の入園募集を行い、全ての児童の受入れをすることができた。
- 保育園の老朽化が進んでいるため、地域別、年齢別の児童数に基づき、保育サービスの向上を前提とした保育施設の適正配置を進める。

エ 放課後児童クラブ（学童保育）への支援

【令和6年度の取組み】

- 放課後児童クラブの利用ニーズに対して、受入体制や活動場所の確保と安定的な運営を支援した。また、令和5年度から多子世帯の負担軽減を図るため2人目以降の利用料の半額減免を行い、継続した支援を行った。

※資料 P87 「○放課後児童健全育成事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 事業の安定的な運営と児童への保育の質の向上に取り組めるよう補助を行い支援した。今後も継続した協力体制が必要となる。
- 近年の利用ニーズの高まりにより、新規開設するクラブの事業者に対する支援を行い、受入体制を確保した。今後も運営支援やニーズに対する対応を進める。

Ⅲ 点検及び評価に対する意見等

令和6年度の取組状況等の点検・評価に対する意見等は、以下のとおりです。

- ・高校でもメディアコントロールについては、1年生を対象に使い方やルールを講演会や授業において指導している。おちやっ子教育プランにあるとおり、統一ルールとして、小学生は夜9時から、中学生は夜10時からゲーム機やパソコン、スマートフォンなどのメディアは使用しない、など時間を明記することは大変参考になる。
- ・学ぶための土台を作るために、睡眠時間を確保する、生活リズムを整えることが大事である。SNSやメディア利用については、おちやっ子教育プランにあるとおり、それぞれの家庭で実践され、子どもたちの学ぶ意欲や学ぶための学習が身に付く土台が出来ていくことを願いたい。
- ・ホントカ。がオープンし、いつ訪れても子どもから大人まで大勢が利用している。人を集める力は絶大である。児童生徒にとっても心の栄養になるものがたくさんある場所でもある。各学校の図書館担当教員と市図書館職員との会議等を通して、連携や情報共有をお願いしたい。
- ・町内の回覧板で定期的に小学校と中学校の学校だよりを拝見している。校長先生の学校運営、理念、子どもたちの大会や試合での活躍の情報など、学校の様子がよく分かり非常に嬉しいことである。今後も定期的に情報提供いただきたい。
- ・コロナ禍で子どもたちの生活環境も大きく変化した。これからも環境が変化していく状況が出てくることと思うが、それに対して、素早く、子どもたちを守るために教育現場と教育委員会が一体となって進んでいくことが大事である。
- ・高校でも不登校対策が重点課題である。いじめや不登校はSNSでのトラブルや、ゲームのし過ぎで生活習慣が乱れたり、その状態で朝、登校するということもあるので具体的な取組を続けていきたい。
- ・これからますます増えていく不登校児童生徒への対応に力を入れていただきたい。
- ・個別にニーズを要する児童生徒に対するアシスタントが充実している。ここまで配置している市はなかなかないのではないかと。引き続き、配置をお願いしたい。
- ・特別支援アシスタントの増員や学びの多様化学校の開設は大変良いことであるが、支援を必要とする子どもが増えてきているということでもある。その元となっている背景が気になる。どうして学びの多様化学校が必要となるのか、子どもたちの育ちが少し変わってきていると感じている。
- ・保育園・認定こども園から小学校へのスムーズな移行がとても重要である。現在「架け橋プログラム」の研修会でも小学校と園の実践発表があり、入学のスタートが一番大事だと感じている。園と小学校との連携が進んでいることはとても良いことである。
- ・園と小学校の交流が以前よりも盛んになっていて、いわゆる「小1ギャップ」をできるだけ少なくしようという取組が進んでいると感じている。引き続き、交流が続くことをお願いしたい。

- ・保育士や放課後子ども教室のボランティアの確保など、様々な場面で人材を確保することが難しいと感じている。地域の方々から小千谷市の教育に理解、協力を得て必要な人材確保が進むとよい。おぢやっ子教育プランに「地域」の取組があるとおり、学習ボランティア、部活動の地域移行など、地域の人たちが学校教育の現状や課題に対し、自分たちの学校のためにという思いを持ち、協力していただくと大変素晴らしいと思う。

令和6年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書

令和7年8月

編集・発行 小千谷市教育委員会

〒947-0028 小千谷市城内四丁目1番38号

(小千谷市健康・こどもプラザあすえ〜る)

電話 0258-83-3519 FAX 0258-83-5779